

ブログ

2024. 10. 30

いつの頃からだろうか。毎日、「園長通信～こころ～」と園での様子を撮影した写真を Web ページにアップするようになったのは、4月のかなり早い段階だったと記憶している。どちらも、試行錯誤だった。園長通信の方は、徐々に方向性が見えてきた。だが、ブログの写真の方は、子どもたちを撮りながらも、「どうすればいいんだ」「こうすればいいのか」と、日々悩んでいる。未だに「これだ」というものがない。

ブログの写真は、もはや日課となっている。ルーティンの一つである。最初は、1日1回はアップしようと思って始めた。予定通りにアップする。「とりあえず終わった」と思っていると、何だか、また魅力的な活動が始まる。「これは撮らなければ」となり、またアップする。そんなことをしていると、1日に4回も5回もアップするようになる。油断していると、職員室に「園長先生、〇〇だから来てください！」と招集がかかる。撮影のチャンスを知らせてくれる。慌てて、現場へ急行する。タイミングを誤り、せっかくのチャンスを逃すこともある。

最初は、活動の全体像を写していたように思う。だが、おもしろくない。つまらない感じがする。子どもたちの様子を見ながら、あふれるような笑顔を追いかけているうちに、どんどん距離が縮まっていった。いつの間にか、一人一人を撮影するようになっていた。

そうすると、こちらの腕が問題となる。ただの素人が撮っている。せっかくの笑顔を逃すことが多い。手ブレもある。ボツになる。本当は、一人一人全員の笑顔を撮りたいのだが、そううまくはいかない。活動内容によっては、真剣な眼差しを撮ることもある。その表情がいい。

子どもによっては、カメラを好む子がいれば、そうでない子もいる。さり気なく撮る技術も必要となる。一人2枚ずつ撮ろうとして、1枚しか撮れない子どもが出ることもある。そういうときは、次の回で調整するようにしている。

いつの間にか、子どもたちのアルバムのようになってしまった。本園の教育目標は、「笑顔かがやく子どもを育てる」である。そうであるならば、できる限り、笑顔かがやく場面を切り取って写真に残していきたい。

園経営を進める上で、いつも念頭に置いていることがある。それは、“保護者の満足度”である。子どもたちのすぐ脇には、保護者の皆さんがいる。まだまだ満足のいく写真は撮れないが、これからも「ああでもない、こうでもない」と努力を重ね、腕を磨いていくつもりである。